

ベージニオ[®]+フルベストラントorAI療法

・ベージニオ[®]+フェソロデックス[®]療法

	Day1	8	15	21	28	29~
ベージニオ 300mg/日 1日2回経口内服 連日投与	→					
フェソロデックス [®] 500mg 250mgを1本ずつ左右臀部に 筋肉内注射 4週毎	↓		※		↓	

※初回のみday15も施行

・ベージニオ[®]+非ステロイド性AI療法

	Day1	8	15~
ベージニオ 300mg/日 1日2回経口内服 連日投与	→		
アナストロゾール 1mg or レトロゾール2.5mg 1日1回 経口内服 連日投与	→		

副作用 骨髄抑制、悪心・嘔吐、**下痢**、肝機能障害、脱毛、倦怠感、ほてりなど更年期障害

ベージニオ[®]の下痢



- 高頻度で発現(80%以上)
- 臨床試験における初回発現時期(中央値)は6.0~8.0日
- 下痢の兆候が認められた場合は止瀉薬及び水分補給にて対応

ブリストルスケール:5.6あたりでロペラミド2T分2内服開始

7で1回量2mgとし、2時間毎に内服検討

- Grade2以上の下痢が継続する場合は休薬または減量など適切な処置を行う必要あり

grade2:身の周りの事は可能、ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加

ブリストルスケール
(便の性状分類)

Type 1 コロコロ便		小さくコロコロの便 (うさぎの糞のような便)
Type 2 硬い便		コロコロの便が つながった状態
Type 3 やや硬い便		水分が少なく ひびの入った便
Type 4 普通便		理想的なうんち 適度な柔らかさの便 (バナナ、練り歯磨き粉状)
Type 5 やや軟らかい便		水分が多く非常に 軟らかい便
Type 6 泥状便		形のない 泥のような便
Type 7 水様便		水のような便

ベージニオ[®]の副作用

- 骨髄抑制

臨床試験においてgrade3以上の好中球減少の初回発現時期(中央値)は29~33日
内服開始初期は2週に1回の検査を推奨

- 悪心・嘔吐

内服開始し14日以内に発現する可能性あり
対応: 症状発現時ノバミン[®]5mg屯用使用

- 間質性肺炎

死亡例あり→息切れ、咳、発熱の症状には要注意
好発時期同定なし

- 肝機能障害

